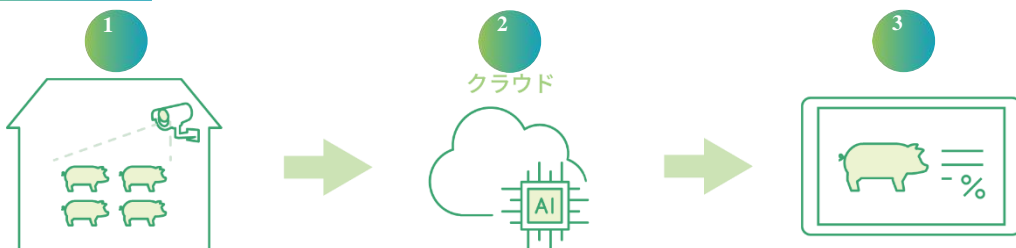




システム概要

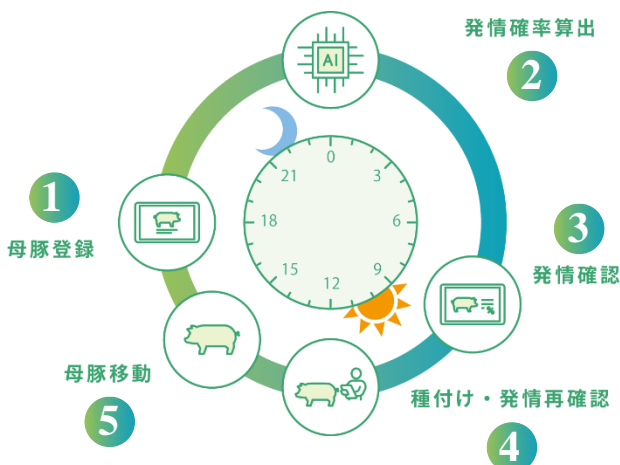


- ① カメラが、母豚の行動を記録。
- ② 人工知能（AI）が発情時特有の行動を分析し、発情確率を自動で算出。
- ③ 結果をタブレット上に表示。

導入後の業務変革イメージ

本サービスは主に以下の流れに沿って使用します。

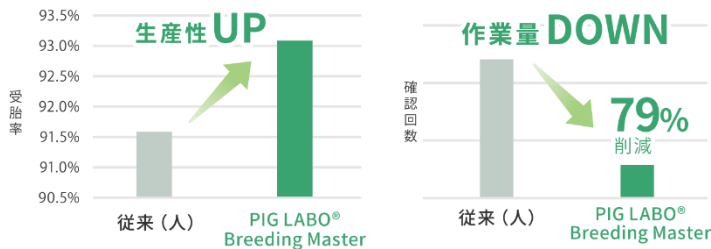
- ① 前日に母豚位置を登録。
- ② 夜間にAIが稼働、自動で分析を実施。
- ③ 翌朝、表示された発情判定結果を確認。
- ④ 表示結果を基に種付け作業を実施。
- ⑤ 母豚を移動した場合は、再度登録（①）を実施。



導入効果

検証試験においてPIG LABO® Breeding Masterの活用により以下の効果が確認できました。

- ① 熟練飼育作業員の受胎成績を上回ることに成功。
- ② 人による発情確認作業量の削減を確認。



※試験農場における6か月間の検証結果（延べ試験頭数：838頭）

特徴

分かりやすいUIで豚の発情状態とするべき作業が一目で分かります。

- 発情 種付けが必要です
- 要発情確認 発情確認してください
- 未発情 種付けが不要です